

消防庁長官表彰

長年の功績により濱端副団長を表彰

7月3日、町長室にて美幌・津別広域事務組合津別消防団濱端隆一副団長の消防庁長官表彰伝達式が行われました。濱端さんは昭和61年の入団以来34年の長きにわたり、各種災害出動及び消防団幹部として予防思想の普及並びに消防団員への指導育成等の功績により表彰されました。佐藤町長から表彰状の伝達を受けた濱端さんは、「これからも町民の安全・財産を守る使命を果たします」と述べました。



▲佐藤町長（左）と濱端副団長

長年にわたり地域の防火管理に貢献

山田前会長に感謝状を贈呈

6月30日、町長室にて津別町防火管理者連絡協議会山田耕司前会長へ感謝状の贈呈が行われました。山田さんは平成14年から今年4月まで18年の長きにわたり会の活動に携わり、平成24年から8年間は会長として地域の防火管理に貢献されました。山田さんは、「様々な防火の体験や勉強ができました。この感謝状は個人ではなく、会に頂いたと思っております」と述べました。



▲佐藤町長（左）と山田前会長

オーケストラの魅力に触れる

小・中学校で音楽鑑賞と指揮体験

指揮者のいない最少編成オーケストラ「サロンオーケストラ・エイト」による演奏会が7月13日、津別小・中学校で開催されました。文化芸術による子供育成総合事業の一環として、児童・生徒たちの豊かな想像力を養うとともに、優れた芸術文化の創造に資することを目的としたものです。演奏の合間には指揮者体験コーナーがあり、児童らが演奏者を前に一生懸命に指揮棒を振りました。



▲津別小中学校での演奏の様子

第一工業（株）からノート等の寄贈

津別小の1年生へプレゼント

6月12日、北見市の第一工業株式会社（代表取締役社長 神成英樹）から教育委員会に、津別小学校1年生へ北海道コンサドーレ札幌のノートとシヨルダ―袋各31個の寄贈がありました。当日は、小西茂専務が来庁し、宮管教育



▲山口校長（左）と宮管教育長

核のない平和な世界を願って

今年で75回目の終戦記念日を迎えます。しかし、今なお広島・長崎の原爆の後遺症に苦しむ多くの人たちがいます。核も戦争もない平和な世界は人類の願いですが、テロと報復戦争が繰り返されています。津別町は、平成10年9月に左記の「非核・平和の町宣言」を行い、核兵器の廃絶を訴えています。また、平成14年には幸町の忠魂碑跡地に「平和の碑」を建立し、恒久平和の実現を願っています。さらに平成21年に、連帯して世界恒久平和の実現を願う「平和市長会議（現・平和首長会議）」に加盟しました。



平成14年に建立された「平和の碑」

「非核・平和の町宣言」の決議

世界の恒久平和と豊かで安全な地域環境を守ることが、全世界の共通の願いであります。この切なる人類の願いにかかわらず、今なおこの地球上には大量の核兵器が蓄積され、核実験・核競争が行われ、この脅威から解放されておりません。核兵器の使用は地球を破壊し、すべての人類、すべての文明を破壊させるものであります。

世界唯一の被爆体験国である日本国民は、この過ちを再び繰り返さないために、核兵器の廃絶を世界に訴え続け、核競争に歯止めをかけなければなりません。

愛林の町を宣言している私たち津別町民は、緑豊かな自然と郷土を守り子孫に伝えるためにも、非核三原則の作らず・持たず・持ち込ませずの理念を尊守し、恒久平和の実現を願い、ここに「非核・平和の町宣言」をする。

以上、決議する。
平成10年9月25日 北海道網走郡津別町議会

各種医療費助成事業の受給者証は届いていますか

町では、北海道と共同で医療費の助成事業を実施していますが、受給者証は毎年7月に更新しています。現在助成の対象になっている方には、7月下旬に郵送しています。まだ届いていない方がいましたら役場担当まで問い合わせ願います。

乳幼児等医療費助成事業

【受給者証を提示することで医療機関の窓口負担が0円になります】

中学生以下の方が道内の医療機関で受診した際、受給者証を提示することで窓口負担が0円になります。ただし、容器代等の保険適用外は除きます。

また、対象とならなかった医療機関等で受診した場合は、領収書を役場に持参の上、医療費を請求してください。

ひとり親家庭等医療費助成事業

【母子家庭、父子家庭の方が助成対象になります】

ひとり親家庭で、18歳未満の児童・生徒及びその児童等を養育している方が対象です。進学等で、引き続き児童等を扶養する場合は、20歳未満まで対象となり

地域おこし協力隊の皆さん

地域おこし協力隊隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。



津別町の皆さん 初86まつ

4月1日に地域おこし協力隊に着任した吉井晴紀です。よろしくお願ひ致します。

出身地は弟子屈町で、屈斜路湖や摩周湖といった湖や、摩周岳や硫黄山、藻琴山などの山、町中を流れる釧路川など、自然に囲まれた人口7000人ほどの町です。

弟子屈にはカラオケやイオン、マクドナルド、TUTAYAなど、都会では当たり前前の店舗が全くないので、服や家電製品など大きな買い物は1時間かけて美幌や釧路中標津に行かなくてはなりません。最近ではニコットやツルハドラッグが建ち、少し都会チックになりつつあります。

そんな自然の中で育った私は、18歳の時に「自然の中で仕事をしたい」と考えました。しかし、農家や酪農家ではなく自衛隊に入隊。おそらく「誰かのために生きたい」という意思が強かったのだろうと思います。

私が配属されたのは千歳の基地です。勤務をしている中で、もつと身近で自然と関わりを持ち、誰かのために生きる職業に就きたいと思い始め、自然ガイドという仕事をしました。貯めていたお金を使い、恵庭にある北海道エコ・動物自然専門学校に入学し、「自然をみる楽しさ」を学びました。

現在勤務しているノンノの森ネイチャーセンターの代表上野真司さんとは、在学中に知り合い、今は上野さんの下でガイドの勉強中です。

重度心身障がい者医療費助成事業

対象者は、身体障害者手帳の1、2級と3級（内臓疾患のみ）、療育手帳「A」判定の方などです。

受給者証は、各医療機関で提示することで、医療費の助成が受けられます。※住民税課税で65歳以上の一定の障がいがある方（障がい後期医療制度加入者）は、自己負担が1割となりますが、後期高齢者医療保険も同じ1割となりますので、受給者証は交付されません。

問い合わせ先
保健福祉課 国保係
医療給付担当⑨番窓口
☎76-2151
(内線237)